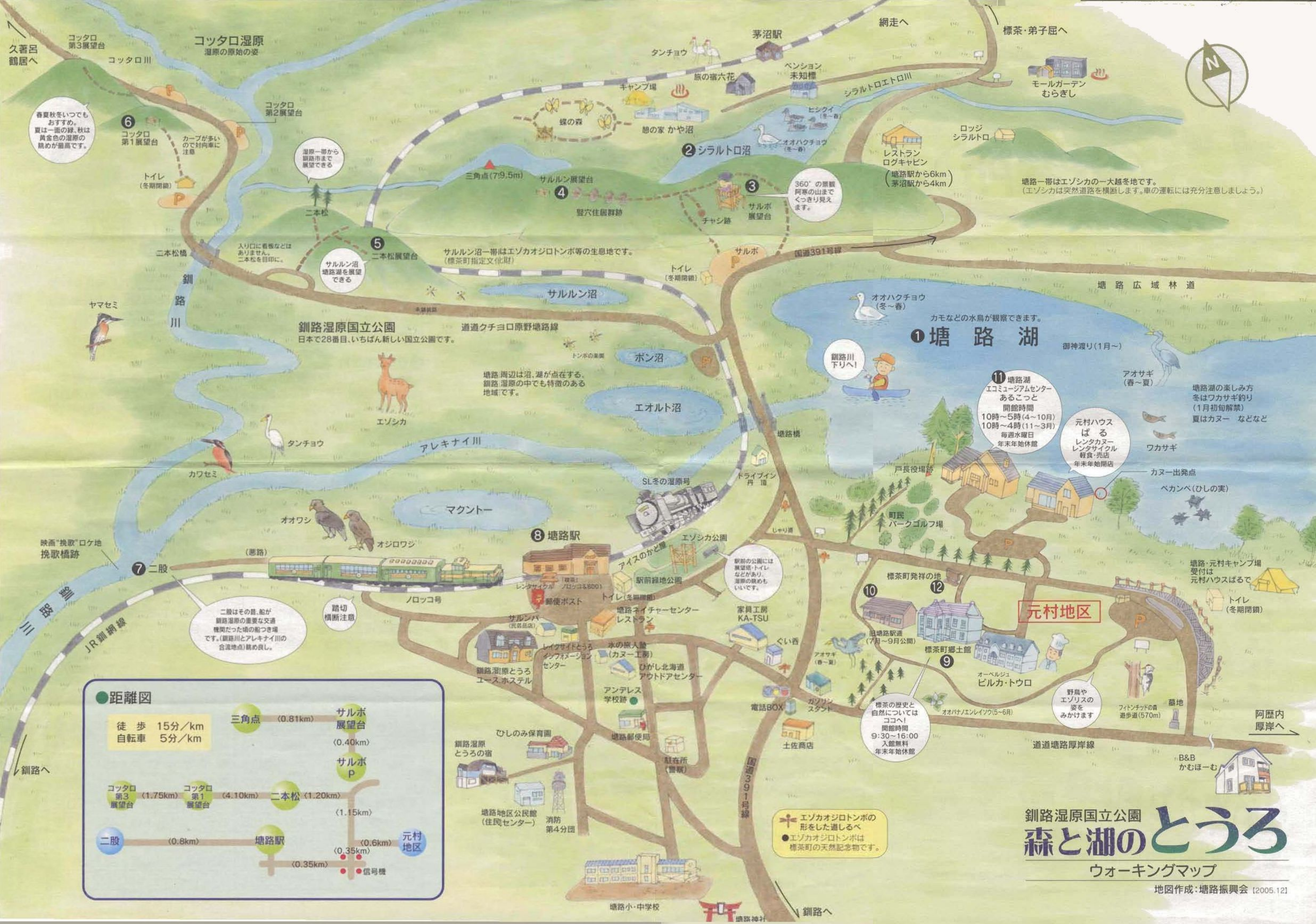


北海道 ウォーキング・ルート情報 釧路・根室圏

所在場所	北海道川上郡標茶町
コースの名称	茅沼 蝶の森
コースのご紹介	シラルトロ湖キャンプ場の奥に隣接している茅沼蝶の森。遊歩道沿いには植物・蝶の看板が設置されている。また、長の森の奥にあるシラルトロ歩道を歩くと、スリット付きの水鳥観察デッキがあり、警戒心を解いた水鳥の生態を観察できる。



始点・終点	字コッタ口原野	
距離	3.1km	
所要時間(目安です)	約40分	
利用可能期間	通年	
案内標識	あり	
トイレ・休憩施設	ミニビジターセンター(トイレ有)	
注意事項	生態系の素晴らしさを失わないように気を配りながら楽しんでください	
交通アクセス	公共交通機関	JR標茶駅から車で20分、JR茅沼駅から徒歩10分
	自家用車	標茶市街から約20分
	駐車場	あり：無料
周辺観光資源等	シラルトロ湖キャンプ場、ミニビジターセンター、憩の家かや沼(宿泊施設)	
管理主体 (問い合わせ先)	名称	標茶町役場 農林課
	住所	標茶町川上4-2
	電話	015-485-2111(内線242)



春夏秋冬いつでもおすすめ。夏は一面の緑、秋は黄金色の湿原の眺めが最高です。

塘路一帯はエゾシカの一大越冬地です。(エゾシカは突然道路を横断します。車の運転には充分注意しましょう。)

映画「挽歌」ロケ地 挽歌橋跡

二股はその昔、船が釧路湿原の重要な交通機関だった頃の船つき埠です。(釧路川とアレキナイ川の合流地点)眺め良し。

二股橋

サルルン沼一帯はエゾカオジロトンボ等の生息地です。(標茶町指定文化財)

360°の景観 阿寒の山までくっきり見えます。

塘路湖 エコミュージアムセンターあることと 開館時間 10時～5時(4～10月) 10時～4時(11～3月) 毎週水曜日 年末年始休館

元村ハウス ばる レンタカー レンタサイクル 軽食・売店 年末年始閉店

塘路湖の楽しみ方 冬はワカサギ釣り(1月初旬解禁) 夏はカヌー などなど



エゾカオジロトンボの形をした道しるべ ●エゾカオジロトンボは標茶町の天然記念物です。

釧路湿原国立公園 森と湖のとうろ

ウォーキングマップ

地図作成: 塘路振興会 (2005.12)

見どころ 歩き所

塘路いろいろ情報

ゆつくり

とろろ

① 塘路湖

周囲18Km、東西7Km、南北1.5Km、面積6.3Km²、最大水深7mの釧路湿原国立公園最大の海跡湖。海の名残であるイサザアミが生息している。ワカサギ、ハゼ、コイを中心とした漁業が営まれている。佃煮、イカダ焼きが特産物である。水生植物であるペカンベ（菱の実）も繁茂している。カヌーのレンタルもある。冬には氷の膨張現象である御神渡り（おみわたり）も見られる。氷上ワカサギ釣りも風物詩の一つ。武田泰淳の小説「森と湖のまつり」の舞台にもなっており、映画のロケ地にもなった。その他「挽歌」や「仔鹿物語」のロケ地に選ばれている。アイヌ語でト・オロは「沼の場所」という。

② シラルト口沼

周囲6.5Km、面積1.81Km²、最大水深2.5mの海跡湖で阿寒湖と同種類のマリモがある。釧路湿原では最大の水鳥の飛来地であり、バードウォッチングに適している。アイヌ語でシラルト口は、「川の中の岩の間」という。

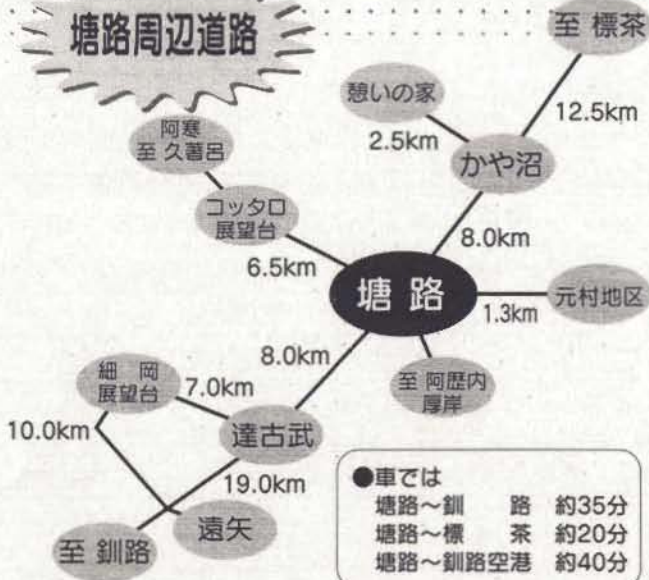
③ サルボ展望台

国道391号線を塘路市街地から、標茶方面に約1.1Km行った標高72mの山の上にある展望台。塘路湖、釧路湿原、シラルト口沼、雄・雌阿寒岳、摩周岳、斜里岳を一望できる。近くには、整穴住居群跡やチャシ（アイヌ語で砦、館、柵囲いをいう）がある。サルボはアイヌ語でサル（羆原）ボ（子）で、「小さい羆原」の意味。ハイキングコースは30分ほどで探勝できる。

(市外局番015)

施設名	電話番号
標茶町郷土館	487-2332
塘路湖エコ・ミュージアムセンターあるごと	487-3003
塘路郵便局	487-2300
弟子屈警察署塘路駐在所	487-2151
塘路地区公民館	487-2111
標茶町役場商工観光課	485-2111

塘路周辺道路



●車では
塘路～釧路 約35分
塘路～標茶 約20分
塘路～釧路空港 約40分

④ 三角点展望台

サルボ展望台へ行く途中から分岐して約570mで、標高79.5mの三角点に達する。展望台としては一番高い。釧路湿原、釧路川、雄阿寒岳、雌阿寒岳、シラルト口沼の展望が素晴らしい。

⑤ 二本松展望台

国道391号線から道々クチョロ原野塘路線を1.2Km行くと釧路川に架かる二本松橋がある。この橋の手前右側に標高42mの小高い丘が2つある。左側は釧路川、釧路湿原、雌・雄阿寒岳を展望でき、右側に行くと、サルルン沼、塘路湖、塘路市街を展望できる。

⑥ コッタロ展望台

国道391号線から道々クチョロ原野塘路線を久善呂方面に5.3Km行くと（1部砂利道）コッタロ展望台に到着。久善呂方面に向かって第一、第二、第三と展望台が続く。第一展望台にはトイレが設置されている。どの展望台からも原始的な湿原や風景が展望できる。

⑦ 二股（釧路川）

塘路駅を出て右側の道路を歩き、釧網線の踏切を渡り0.8kmで釧路川に出る。ここは釧路川とアレキナイ川の合流点である。昔、この釧路川に塘路・久善呂間の殖民軌道が通じており、木橋が架かっていた。のちに、映画「挽歌」のロケ地となった。

～塘路を「ゆつくり通る」と楽しみいっぱい～

⑧ 塘路駅

昭和2年（1927）釧網線の釧路・標茶間の鉄道が開通し塘路駅が営業を開始した。昭和25、6年当時木炭生産日本一となり、貨車輸送で賑わった。昭和33年映画「森と湖のまつり」の舞台となった。平成10年駅舎のリニューアルを図った。

⑨ 標茶町郷土館

明治18年（1885）設置の旧釧路集治監本館として標茶本町に新築されたが昭和44年現位置に移転復元したものである。郷土館の収蔵資料は考古資料35,000点、生活産業資料1,300点、動物剥製・昆虫資料等4,600点、古文書700点となっている。

⑩ 旧塘路駅遺構

明治23年（1890）旅行者や移住者の通行の便利を図るために駅遺構が設置された。昭和46年現位置に移転復元した。

⑪ 塘路湖エコ・ミュージアムセンターあるごと

平成9年に完成した。釧路湿原国立公園を訪れた人々に釧路湿原の自然や利用についての情報を色々な形で提供し、より楽しく快適に湿原に親しんでもらう施設。

⑫ 標茶町発祥の地

明治18年（1885）に熊牛他4ヶ村戸長役場（屈斜路、弟子屈、虹別、塘路を管理する役場）が塘路に設置され、標茶町の前身である熊牛村が誕生した。このため、塘路は標茶町発祥の地となっている。

(市外局番015)

施設名	電話	施設名	電話
丹頂ドライブイン	487-2405	ひがし北海道アウトドアセンター	487-3111
ビルカ・トウロ	487-2200	釧路湿原とうろユースホステル	487-2510
喫茶ノロック&8001	487-2118	レストランログキャビン	487-2126
元村ハウス パル	487-2172	憩いの家 かや沼	487-2121
土佐商店	487-2222	旅の宿六花(りっか)	487-2357
家具工房 KA-TSU	487-2356	ペンション未知種(みちしゅ)	487-2269
アイヌ伝統工芸工房ラクル	487-2166	ロッジ シラルト口	487-2325
塘路ネイチャーセンター	487-3100	かむほーむ	487-3361
レイクサイドとうろインフォメーションセンター	487-2173	釧路湿原とうろの宿	487-3655
サルンバ	090-9516-2726		

さわやかな風と緑

■カヌー（塘路～細岡）
所要時間 2時間

《注意》

- ①塘路橋、二股には、古い木杭が残っているので注意。
- ②水中の沈木や流木に注意。 ③営巣地には近づかない。